

コロナウイルス感染 日本はだいぶ落ち着いたかにみえるこの頃ですが 世界に目をやれば コロナの波はまだまだ猛威をふるっている段階で 感染者数最大級という日を更新しています。

「感染者数や 死者数が少ないのは PCR 検査数が少ないからで ごまかしている」とまで言われた日本の数字ですが どうも 今になってみると 「なぜ死者数が少ない、ゆるゆるな規制なのに 感染者が爆発的に増えない。日本人は 不思議以外の何物でもない」とまで言われているようです。

・マスクをつけることに抵抗が無い

・ハグや 握手など ひとと接触することが あまりない生活習慣であること

・太った人が少ない事

・距離をたもつよう、移動などの自粛をしよう、と言われて強制でなくても従う従順な人間性

・子供のころ摂取している BCG

・国民全員が加入している医療保険で誰でも同じ医療を受けられる体制が整っていること

・遺伝子が そもそも ちがうのではないかと 等々

いずれの理由であれ 第二波 第三波の 感染拡大がまた訪れないことを祈るしかありません。

と、そうこう言っているうちに あれよあれよと東京及び近隣県の感染者数が増えてまいりました。

東京 100 人～200 人越えが続いています。このまま増えていくのであれば また再度の緊急事態宣言となるかもしれません。夜の街でのクラスターが発生したことから 地域の同業者関係の PCR 検査を実施しているそうで 10代～30代の無症状の若者の陽性が増えているというのが一因でもあります。

ただ 自分は無症状でも「陽性」なのでですから 他人には感染するわけで なんとか打つ手が無さそうで 難しいですね。しかも 中国では新たな「豚インフルエンザ」が発生し ヒトに感染したのが確認されているとか。

次々と 新しいウイルスが生まれ 人類めがけ襲ってきます。これから こんな世の中になってくるのでしょうか？

「完全にコロナ以前の状態には戻ることはない」と思って 今後はうまく共存していくべきなのでしょう。

うらみつらみをぶついたり 他力の補助金をあてにしたところで それも結局は自分に還ってきます。

できることから コツコツと いろいろ工夫しながら・・・ということでしょうか。

制限された中で 気を付けながら生活していくこと。良いこともあります。コロナウイルスで マスクや 手洗いうがいなどが 日常化されたところ なんと インフルエンザの罹患率も ぐっと下がっているのです。また 家族が家で集うことが多くなり いろいろ工夫した家族の行事やつながりができた事も 良かったように思います。

自宅待機で 家での仕事が増え 会議などもリモートで・・・ということも多くなりました。

激減した売り上げの対抗策として ネットを駆使して注文をとったり 夜がだめなら昼のテイクアウトお弁当で頑張るお店も。ミュージシャンも ライブ活動 コンサートツアー等の自粛などで まったく収入が途絶え 大変苦しい毎日を送っているようです。ただ 有名なミュージシャンの 無観客でのライブをネット配信したところ 50万以上の方が視聴したとのこと。これからの 音楽の「日常」の中の 選択肢の一つとして 大きく印象付けられたのではないのでしょうか？

今、ようやく学校も再開し コロナで休んで遅れた授業を 日々の時間の追加や 夏休みの返上などで 補おうとしています。学校行事も中止がいろいろありましたが その中で 修学旅行をどうする？というのが目下の課題らしいです。

ただ 関東方面コースは避ける、旅館も「密」を避けるため 受け入れ人数が半分に以下に またバスなども今まで1台に乗っていた人数だと 2,3 台必要になる。そうすると 旅行代金も大きく上がってしまう。また コロナで移動自粛となると キャンセル料はいったいいくらになるのだろう？等々。福井県知事の話というか・・・どうも すでにそちらに傾いているのでは？という感じがしますが「修学旅行は どうぞ県内で」安全面を考えたら それがいちばんいいかも・・・そして子供たちも「まったくの中止」とは また趣が変わっていいかもしれない・・・などと思っています。しかし、どうなることでしょうね？

マルジン 7 月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

＜モノレールレンタル料(賃料)の一覧表＞

「モノレールレンタル料(賃料)の一覧表」

本年 4 月に改訂されております。

ご入用の方は

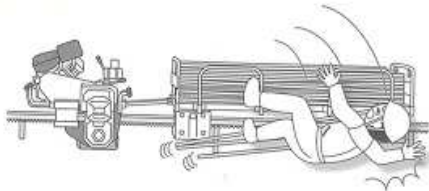
マルジン(0778-27-7200)までご連絡ください。

労働災害事例ヒヤリハット集

災害事例
ヒヤリハット

1. 荷物台車に乗車しての災害

乗車禁止にもかかわらず荷物台車に資材を積んだ状態で乗車中、資材が荷崩れを起こし、落下を防ごうとサポートから手を離れた際に転落し腕の骨を折る重傷を負った。



予防と対策

- ① 荷物台車は乗車禁止です。絶対に乗車しないでください。
- ② 乗車が必要な場合は運転台車を装備しましょう。
- ③ 積荷は荷崩れしない様にしっかりと荷締めを行いましょう。

memo

2. 連結器（ジョイント）に乗車しての災害

資材運搬中、動力車と荷物台車の間にある連結器の上に足を掛けて走行中、何かのひょうしに足を滑らせ、右足部分が動力車とレールの間に挟まれ足の指を切断するなどの大けがを負った。



予防と対策

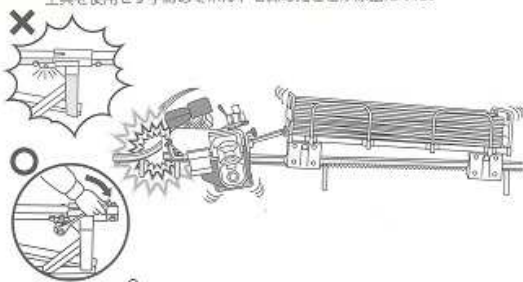
- ① 連結器は大変滑り易く危険です。乗用台車以外への乗車は絶対にやめてください。
- ② 乗車が必要な場合は運転台車を装備しましょう。

memo

事故事例
ヒヤリハット

4. 分岐ポイントの取扱いによる事故（その1）

分岐ポイント部を走行中に、切り替えレールが跳ね上がり動力車に突き刺さった。動力車は激しく大破しエンジンも停止した。幸い跳ね上がった切り替えレールは人には接触せずけが人はいなかった。工具を使用せず手締めでボルトを締めたことが原因だった。



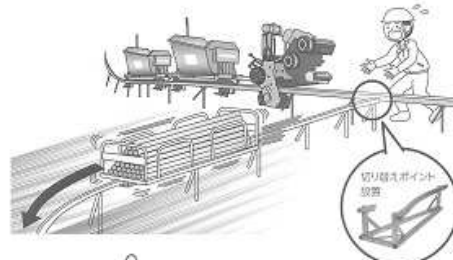
予防と対策

- ① 切り替えレールの固定ボルトは手締めではなく工具でしっかりと締めてください。ボルトが緩みレールが外れる可能性があり大変危険です。
- ② ポイント通過時はあらかじめストッパーを取付けておき、手前で一旦停止しボルトの締め具合などを確認することを推奨します。

memo

5. 分岐ポイントの取扱いによる事故（その2）

中間地点付近に荷物台車とバケット台車を切り替えるためのポイントを設置していた。荷物台車からバケット台車に切り替える際、切り離れた荷物台車が突然動き出し、始発点に向かって暴走した。逸脱防止板を付けていたので脱線せずに始発点付近で停車したが、荷物台車は完全に大破した。幸いレール軌条付近にはおらずケガ人はいなかったが、一歩間違えれば大惨事になる事故だった。



予防と対策

- ① 台車は歯止めをせずに切り離さないでください。
- ② 台車の切り替えは、平坦な場所で行うことを推奨します。

memo

モノレールの事故や災害を予防するための「ヒヤリハット集」が変わりました。

モノレール運転講習の際に 今後利用していきます。今回は少しだけ抜粋いたしました。このほかには・・・

1. 荷物台車に乗車しての災害。2. 連結器（ジョイント）に乗車しての災害。3. 荷物台車および連結器に乗車しての災害
4. 運転ミスによる災害。5. レール軌条内作業および無人走行による災害。6. 規定外の積荷による災害。7. 点検不備による災害。8. 過積載による機械損傷事故。9. 最大積載高超過による脱線、横転事故 等々ございます。